

○アドミッションポリシー

求める学生像

医学系研究科看護学専攻（修士課程）では、以下のような大学院生を求めます。

1. 看護実践上の課題を明らかにするために専門的知識の修得に主体的に取り組める人
2. 論理的・科学的思考により看護学を探究しようと考えている人
3. 看護職としての倫理観と豊かな人間性を備えて柔軟な発想で研究に取り組める人
4. グローバルな視野で人々の健康問題に貢献する意欲のある人

入学者選抜の基本方針

一般選抜では、英語の筆記試験及び成績証明書により、大学院で学ぶ上で必要な基礎学力及び看護学分野の専門的な知識を有しているかを評価しています。専門分野の筆記若しくは口頭試問を実施し、看護学の探究に必要な能力である論理的・科学的思考の資質を有しているかを評価しています。面接試験により、志望動機や看護職としての倫理観や豊かな人間性・柔軟な発想力及び広い視野で人々の健康問題に取り組める看護実践者・看護研究者であるかを評価しています。

社会人特別選抜では、大学院受験資格を有し、かつ、看護師、助産師、保健師又は養護教諭の資格を有し、看護の実務歴がある者又は現在看護の実務を行っている者に対して行います。一般選抜で実施される試験と併せて、面接試験により、経歴及び研究計画書に基づき入学後の研究意欲を有しているかを評価しています。

○大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例の実施について

看護学研究は、看護実践上の問題をテーマとして行うことが重要であり、学部卒業後に臨床経験・実践経験を持つことは、看護学をより深く追求するために重要であります。

しかし、これら有職者が大学院に進学する場合には、その勤務を離れて修学することが必要となるため、大学院教育を受ける機会が制限されがちです。

このため、本学修士課程においては、大学院設置基準第14条「教育方法の特例」を適用し、これら有職者が離職することなく修学することが可能となるよう、昼間だけでなく夜間その他特定の時間又は時期に教育・研究指導を受けることができるよう、開講します。

履修方法は、以下のとおりです。

- (1)月曜日から金曜日までの18時30分から21時40分、土曜日及び夏季・冬季の休業期間中に開講される講義、演習、特別研究の授業を履修でき、研究指導も受けられます。
- (2)履修計画については、指導教員のもとに作成します。

平成29年度 医学系研究科（看護学専攻）入試概要

平成29年度入学試験は、下記の日程で実施します。

区 分	平成29年度入試（前期日程）	平成29年度入試（後期日程）
出 願 期 間	平成28年 7月22日(金)～ 平成28年 7月29日(金)	平成28年12月26日(月)～ 平成29年 1月 6日(金)
試 験 日	平成28年 8月25日(木)	平成29年 2月 9日(木)
合格者発表	平成28年 9月23日(金)	平成29年 3月 6日(月)

目 次

平成29年度香川大学大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）学生募集要項

1	募集人員	1
2	募集分野	1
3	出願資格	1
(1)	一般選抜	1
(2)	社会人特別選抜	2
4	出願資格審査について	3
5	出願手続	4
(1)	出願受付期間	4
(2)	出願書類等の提出方法	4
(3)	出願書類等の提出先	4
(4)	出願に要する書類等	5
(5)	障害を有する入学志願者との事前相談について	6
6	選抜方法	7
(1)	選抜の方法	7
(2)	学力検査及び面接	7
(3)	試験場	7
7	合格者発表	7
8	入学手続	7
9	その他	8
	香川大学医学部案内図	9
	香川大学医学部施設・建物配置図	10
大 学 院 案 内		
1	目 的	11
2	組 織 構 成	11
3	授業科目・指導教員・各領域の主な研究テーマ等	12
(1)	各領域の授業科目および単位数・担当教員	12
(2)	修了生の修士論文題目および教員の研究テーマ	13
4	履修方法等	14
5	学位の授与	14
6	別表（授業科目及び単位数）	15

平成 29 年 度

香川大学大学院医学系研究科看護学専攻(修士課程) 学生募集要項

1 募 集 人 員

看護学専攻 16人 (「社会人特別選抜」による募集人員若干人を含む。)

2 募 集 分 野

基礎看護学 (看護医科学, 基礎看護学), 臨床看護学 (急性期成人看護学, 慢性期成人看護学, 小児看護学, 母性看護学, 老年看護学), 地域看護学 (地域看護学, 在宅看護学, 精神看護学)

※募集分野の概要は, 大学院案内 (11P~) を御参照下さい。

3 出 願 資 格

(1) 一 般 選 抜

次の各号のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業した者及び平成29年3月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び平成29年3月までに短期大学又は高等専門学校の専攻科を修了見込みで, 同法により学士の学位を授与される見込みの者
- ③ 外国において, 学校教育における16年の課程を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において, 外国の大学の課程 (その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。) を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって, 文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校 (その教育研究活動等の総合的な状況について, 当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。) において, 修業年限が3年以上である課程を修了すること (当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。) により, 学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成29年3月までに学位を授与される見込みの者
- ⑦ 専修学校の専門課程 (修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。) で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成29年3月までに修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者及び平成29年3月までに指定した者に該当する見込みの者 (昭和28年2月7日文部省告示第5号)
- ⑨ 学校教育法第102条第2項に規定する者【注1】, 【注2】
- ⑩ 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学の大学院に入学した者であって, 当該者をその後に入学者とする本大学院において, 大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの【注2】

- ⑪ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの及び平成29年3月31日までに22歳に達するもの【注2】
- 〔短期大学、専修学校等を卒業後、看護学関係の教育・研究機関又は医療機関で一定期間教育、研究、実務に従事された方は本項に該当します。〕

【注1】出願資格⑨に該当する者は、平成29年3月末現在において、大学に3年以上在学した者（外国において学校教育における15年の課程を修了した者及び外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者を含みます。）であって、本大学院が、所定の単位を優秀な成績で修得する見込みと認められた者です。

【注2】出願資格の⑨、⑩又は⑪に該当する者は、一般選抜、社会人特別選抜を問わず、3ページ「4 出願資格審査について」に従って手続を行ってください。

(2) 社会人特別選抜

上記(1)の出願資格のいずれかを有し、かつ、次のいずれかに該当する者

- ① 出願時に看護の実務に就いている者
- ② 平成29年4月1日現在で、看護師、助産師、保健師又は養護教諭の資格を有し、3年以上の実務経験のある者

4 出願資格審査について

1～2ページ「3 出願資格」の⑨、⑩又は⑪に該当する者は、一般選抜、社会人特別選抜を問わず事前審査が必要です。

綴じ込みの「出願資格調書：様式1」に下記の書類を添えて、下記期限までに、本学へ提出してください。

(1) 審査書類提出期限

前期日程	平成28年 7月 1日(金) 17時までに必着
後期日程	平成28年11月25日(金) 17時までに必着

(2) 出願資格調書に添付する書類

○出願資格⑨に該当する者

- ・大学3年又は外国の学校教育における15年の課程修了(見込み)証明書
- ・成績証明書

○出願資格⑩に該当する者

- ・大学院の成績証明書

○出願資格⑪に該当する者

- ・最終学校の卒業証明書
- ・成績証明書
- ・入学資格個別審査調書(綴じ込みの「様式2」)

(3) 審査書類提出先

〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1

香川大学医学部総務課学務室 大学院・入学試験係(医学部管理棟1階)

※直接書類を持参する場合の受付は、土曜日、日曜日及び祝日を除く日の9時から17時までとします。

(4) 審査結果について

出願資格審査の結果は、下記の予定で書面により本人に通知します。

前期日程	平成28年 7月21日(木) 付けて通知
後期日程	平成28年12月22日(木) 付けて通知

この事前審査で出願資格が認められなかった場合には、出願することができません。

5 出 願 手 続

(1) 出願受付期間

前期日程	平成28年 7月22日(金) から 平成28年 7月29日(金) まで
後期日程	平成28年12月26日(月) から 平成29年 1月 6日(金) まで

(2) 出願書類等の提出方法

ア 直接持参する場合の受付は、土曜日、日曜日、祝日及び12月29日～1月3日を除く日の9時から17時までとします。

イ 郵送による場合は、所定の出願用封筒を使用し、出願書類等を一括して封入のうえ「速達・簡易書留」とし、前期日程・後期日程それぞれの出願受付期間最終日の17時までに必着するよう発送してください。

(3) 出願書類等の提出先

〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1

香川大学医学部総務課学務室 大学院・入試試験係（医学部管理棟1階）

(4) 出願に要する書類等（※印は本学所定の用紙及び封筒）

一般選抜で出願する者は、次に掲げる1から8までの書類を、社会人特別選抜で出願する者は、1から10までの書類をそれぞれ取りそろえ、出願受付期間内に提出してください。

1	※入 学 志 願 票	本学所定の用紙に必要事項を記入したものを提出してください。
2	成 績 証 明 書	出身大学（学部）長が作成し、厳封したものを提出してください。ただし、本学医学部卒業（見込み）者は除く。
3	卒 業（見込）証 明 書	出身大学（学部）長が作成したものを提出してください。ただし、本学医学部卒業（見込み）者は除く。
4	検 定 料 30,000円	入学願書と一連の「振込依頼書（入金票）」及び「領収書」に必要事項を記入の上、 【前期日程】平成28年 7月14日（木）～ 平成28年 7月29日（金） 【後期日程】平成28年12月16日（金）～ 平成29年 1月 6日（金） の間に金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く。）の窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際、必ず入学願書下部の「受付金融機関出納印」欄に押印を受けてください。 (注) 通常、金融機関の窓口取扱時間は、平日の15時までです。また、土日・祝日は休業となりますので、注意してください。
5	※受 験 票 ※写 真 票	出願以前6か月以内に撮影した正面向き上半身無帽の写真(縦4cm×横3cm)を受験票及び写真票の所定欄に貼付してください。 ※印以外の所定の欄は、すべて記入してください。
6	※受験票等送付用封筒	住所、氏名及び郵便番号を記入し、362円分の切手（速達料金）を貼付してください。
7	※あ て 名 票	本学所定の用紙に合格通知書を受け取る際の住所、氏名及び郵便番号を記入してください。
8	住 民 票 の 写 し (日本国籍を有しない者のみ)	日本国籍を有しない者は、市区町村長が発行する住民票の写しを提出してください。
9	研 究 計 画 書 (A4サイズで適宜の様式)	看護研究のテーマ、目的、動機(背景を含めた問題意識)、方法等についてまとめたもの。
10	免 許 証 の 写 し	看護師、保健師、助産師又は養護教諭の免許証の写し。 (A4サイズに縮小してください。)

(注) 入学願書の氏名と成績証明書・卒業（見込）証明書の氏名が異なる場合には戸籍抄本を添付してください。

(5) 障害を有する入学志願者との事前相談について

障害を有する等、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者は、出願に先立ち、あらかじめ本学と相談してください。

相談の時期：	前期日程	平成28年 7月 1日(金)まで
	後期日程	平成28年11月25日(金)まで

相談の方法：申請書（本学所定の様式又は本学が必要とする内容が記されたもの、健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る者との面談等を行います。

連絡先：香川大学医学部総務課学務室 大学院・入学試験係
〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1
TEL 087-891-2074

なお、相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、出願前のできるだけ早い時期に、相談してください。

特に、下表に相当する障害がある者については、申し出がなかった場合、受験の際、障害等の状態に応じた対応ができなくなる場合もありますので十分注意してください。下表から判断できない場合は、お問い合わせください。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のものうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢 体 不 自 由	<ul style="list-style-type: none"> ・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ・肢体不自由の状態が上記に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ・身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
そ の 他	上記以外で、受験上、修学上特別の配慮を必要とするもの (例) 発達障害 (ADHD, 高機能自閉症等), パニック障害, 頻尿

6 選 抜 方 法

(1) 選 抜 の 方 法

- ① 一 般 選 抜 学力検査（筆記試験・口頭試問），面接の結果を総合して判定します。
- ② 社会人特別選抜 学力検査（筆記試験・口頭試問），面接，研究計画書の審査の結果を総合して判定します。

(2) 学 力 検 査 及 び 面 接

月 日	時 間	実 施 項 目	備 考
前期日程 8月25日(木) 及び 後期日程 2月9日(木)	10:00~12:00	英 語	筆記試験 ※辞書持ち込み可 (英和辞典のみとし、電子辞書は不可)
	13:00~	専門領域別試験	筆記試験又は口頭試問
		面 接	専門領域別に行います。

(3) 試 験 場

香川大学医学部 香川県木田郡三木町池戸1750-1

※試験場へ自動車での入構はできません。

7 合 格 者 発 表

前期日程	平成28年9月23日(金)午前9時(予定)
後期日程	平成29年3月6日(月)午前9時(予定)

合格者の発表は、医学部構内（看護学科教育研究棟前）に掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。なお、電話等による可否の問い合わせには応じません。

また、本学のホームページ上においても合格者受験番号を掲載します。(同日午前10時予定)。

香川大学 URL：<http://www.kagawa-u.ac.jp/>

【注】：ホームページ掲載は、本学が情報提供の一環として行うものであり、公式の合格者発表は医学部キャンパス掲示板、合格通知書にて行います。

8 入 学 手 続

合格者は、平成29年3月27日(月)17時(必着)までに、郵送により入学手続きを完了してください。

入学手続き書類は、「簡易書留・速達郵便」とし、上記期限までに教育・学生支援室学務グループへ送付してください。

所定の期限までに入学手続きを完了しない場合には、入学辞退者として取り扱います。

なお、入学手続きに関するの詳細は、前期日程は平成29年2月上旬頃、後期日程は合格通知書と共に通知する予定です。

入学手続きに必要なものは、次のとおりです。

- (1) 本学所定の誓約書
- (2) その他本研究科に必要な書類
- (3) 納付金

入 学 料 282,000円(予定)

授 業 料 前期分 267,900円(予定)
(年額) 535,800円(予定) 【注】①

なお、入学時及び在学中に学生納付金が改定された場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

【注】① 前期分の授業料については、平成29年4月1日から平成29年5月31日までの間に納付してください。

また、希望により、前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

② 払込済の入学料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ・入学手続きを行わなかった場合
- ・入学料を誤って二重に払い込んだ場合

③ 入学手続きを完了した場合であっても、大学卒業見込みで出願した者、大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与される見込みの者が、平成29年3月31日までに卒業（修了）できなかった場合、学位を授与されなかった場合には、この入学手続きが無効になります。

④ 入学手続きを完了した後、何らかの事情で入学することができなくなった場合は、速やかに申し出て、入学辞退の手続きを行ってください。所定の入学辞退の手続きを行わない場合は、平成29年4月1日付で入学したことになり、授業料の債務（前期分）が発生しますのでご注意ください。

9 そ の 他

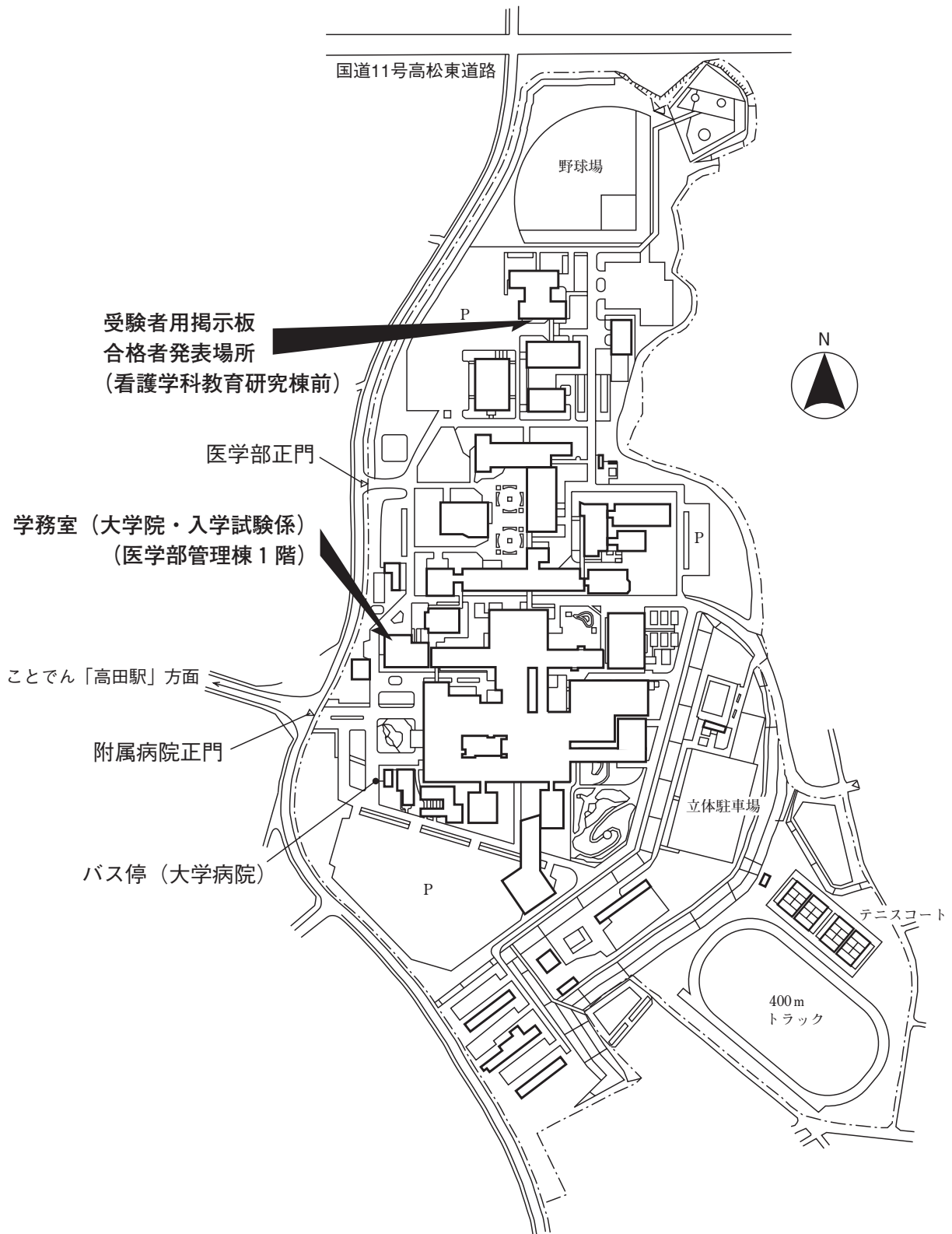
- (1) 出願書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
 - (2) 出願書類受付後の書類の変更は認めません。また、いったん受理した出願書類は返還できません。
 - (3) 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ① 検定料を払い込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
 - ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合
- ※上記①又は②に該当される方は、香川大学入試グループ(電話(087)832-1182)へご連絡ください。
- (4) 出願にあたっては、事前に研究内容等を指導教員に必ず問い合わせてください。
 - (5) 病院・会社等に勤務しながら、入学する場合は、入学手続き時に「入学承諾書」（所定の用紙）を提出してください。
 - (6) 入学試験に関する照会は、下記あてに行ってください。

〒761-0793 香川県木田郡三木町池戸1750-1

香川大学医学部総務課学務室 大学院・入学試験係

電話 (087) 891-2074

香川大学医学部施設・建物配置図



大 学 院 案 内

1 目 的

本学大学院医学系研究科看護学専攻（修士課程）は、生命と人間の尊重を基盤とし、保健医療、福祉及び社会の諸変化に柔軟に対応できる人材を育成することを目的としています。具体的には人々のQOL（Quality of Life）の向上を目指した科学的、実践的な課題解決ができる能力を有し、グローバルな視野で看護学の発展と人々の健康に寄与する研究を遂行できる人材の育成を目指します。

2 組織構成

本学の大学院医学系研究科は、医学部医学科を基盤とした博士課程（医学専攻）と医学部看護学科を基盤とした修士課程（看護学専攻）が設置されています。

看護学専攻（修士課程）は、基礎教育課程での教育研究を基盤とし、大学全体で蓄積した教育研究資源と大学が立地する地域を活用した教育研究を基盤として、看護学の専門性を深めるために、3分野（基礎看護学、臨床看護学、地域看護学）を設置しています。

それぞれの分野においては、社会を取り巻く環境の変化に柔軟に対応し、加速度的に多様化し、変化するヘルスニーズを科学的に追求・予測し、必要な対策を講じられるような看護学に関する高度な専門的知識と技術の修得を目指し、高度職業実践者及び看護教育・研究者を育成できるようカリキュラムを編成しています。

看護学専攻（修士課程）の分野及び専門領域

分 野	専 門 領 域	指 導 教 員
基 礎 看 護 学	看 護 医 科 学	峠 哲男, 藤井 豊
	基 礎 看 護 学	名越 民江
臨 床 看 護 学	急性期成人看護学	市原多香子
	慢性期成人看護学	清水 裕子
	小 児 看 護 学	谷本 公重
	母 性 看 護 学	佐々木睦子
	老 年 看 護 学	大森美津子
地 域 看 護 学	地 域 看 護 学	大西美智恵
	在 宅 看 護 学	松井 妙子
	精 神 看 護 学	渡邊 久美

3 授業科目・指導教員・各領域の主な研究テーマ等

(1) 各領域の授業科目および単位数・担当教員

分野	領域	授業科目	履修年次	単位数	担当教員(電話番号)	
基礎看護学	看護医科学	看護医科学特論	1	2	峠 哲男 (087-891-2238)	
		看護医科学演習	1	4	藤井 豊 (087-891-2359)	
		看護医科学特別研究	1・2	10	筒井 邦彦	
	基礎看護学	基礎看護学特論	1	2	名越 民江 (087-891-2231)	
		基礎看護学演習	1	4	南 妙子	
		基礎看護学特別研究	1・2	10		
臨床看護学	急性期成人看護学	急性期成人看護学特論	1	2	市原多香子 (087-891-2237)	
		急性期成人看護学演習	1	4		
		急性期成人看護学特別研究	1・2	10		
	慢性期成人看護学	慢性期成人看護学特論	1	2	清水 裕子 (087-891-2240)	
		慢性期成人看護学演習	1	4		
		慢性期成人看護学特別研究	1・2	10		
	小児看護学	小児看護学	小児看護学特論	1	2	谷本 公重 (087-891-2242)
			小児看護学演習	1	4	
			小児看護学特別研究	1・2	10	
	母性看護学	母性看護学	母性看護学特論	1	2	佐々木睦子 (087-891-2243)
			母性看護学演習	1	4	
			母性看護学特別研究	1・2	10	
老年看護学	老年看護学	老年看護学特論	1	2	大森美津子 (087-891-2241)	
		老年看護学演習	1	4		
		老年看護学特別研究	1・2	10		
地域看護学	地域看護学	地域看護学特論	1	2	大西美智恵 (087-891-2356)	
		地域看護学演習	1	4		
		地域看護学特別研究	1・2	10		
	在宅看護学	在宅看護学	在宅看護学特論	1	2	松井 妙子 (087-891-2346)
			在宅看護学演習	1	4	
			在宅看護学特別研究	1・2	10	
	精神看護学	精神看護学	精神看護学特論	1	2	渡邊 久美 (087-891-2245)
			精神看護学演習	1	4	
			精神看護学特別研究	1・2	10	
基盤科目	基盤科目	理論看護学*	1・2	2		
		看護倫理学*	1・2	2		
		看護研究方法論1*	1・2	2		
		看護研究方法論2*	1・2	2		
		看護教育学	1・2	2		
		看護管理学	1・2	2		
		臨床科学	1・2	2		
		国際看護学特論	1・2	2		
		養護教育特論	1・2	2		

(2) 修了生の修士論文題目および教員の研究テーマ

分野	領域	概要
基礎看護学	看護医科学	芳香性観葉植物が、記憶・認知機能に与える影響に関する研究 気になる子どもと接する小学生を担任する教師の職務に対するストレスと自己効力感に関する研究 経胃瘻栄養患者における誤嚥性肺炎の原因に関する基礎研究 薬剤耐性インフルエンザウイルスの検出法の開発 パラミクソウイルスの増殖機構に関する研究
	基礎看護学	中規模病院に勤務する一般看護師の相対的医行為実施に伴う不安感とその関連要因 新採用者の入職後1年間における医療安全文化に対する認識 多重問題を抱える頭頸部がん患者の退院後の生活体験 看護師長の自信につながる経験の分析 プリセプター看護師のインシデントレポート記載に対する思いの変化
臨床看護学	急性期成人看護学	「待機手術患者の心配事アセスメントツール」の開発と信頼性・妥当性の検討 リンパ浮腫患者用リスク回避版自己管理スキル評価ツールの信頼性・妥当性及び影響要因の検討 救急看護認定看護師の救命救急対応における看護実践能力の明確化 化学放射線療法を受けた頭頸部がん患者の入院から退院後1ヶ月までの体験の明確化 5年以上経験のある乳がん看護認定看護師の臨床能力の明確化
	慢性期成人看護学	慢性期看護方法開発, 看護教育学(養護を含む)研究, 対話技法教育 筋萎縮性側索硬化症患者の介護継続に伴う配偶者の心的過程 血液透析患者の首尾一貫感覚に関連する身体的・精神的・社会的要因の検討 入院中の高齢肺がん患者の健康状態と主観的健康感・幸福感の検討
	小児看護学	慢性疾患をもつ子どもとその家族への看護に関する研究 子どもの病気対処行動に関する研究 授乳中乳房の血行動態反応に関する研究 Developing Japanese Researchers' Academic English Writing Skills
	母性看護学	がんの実父母の看取りにおける中年期女性看護師の役割間コンフリクトのプロセス 院内助産を継続する助産師の思いのプロセス 母親が母乳育児継続に自身をもつまでのプロセス 妊産婦の母性発達に関する研究 双胎児における胎児行動学
	老年看護学	中国のA大学病院神経内科における臨床看護業務内容の実証 身体と向き合う筋萎縮性側索硬化症患者の病いの体験 ストーマ保有者のボディイメージに関連する経験 診断時期の認知症高齢者が語る自己のあり様と自己への気づき - 看護師とのふれる温かさの相互作用から - 日本家屋の特徴を取り入れた施設を利用している認知症高齢者における生活環境の意味づけ
地域看護学	地域看護学	特定保健指導後の減量成功者にみる行動変容の継続要因 山間過疎地域に暮らす超高齢者の元気の構成要因 急性期病院における病棟看護師の退院支援のとらえ方とその特徴 男性従業員のワーク・エンゲイジメントに関連する要因 フォーカスグループインタビューの手法を用いた介護予防教室参加者の満足感を構成する要因
	在宅看護学	訪問看護職の職業的アイデンティティに関する研究 訪問看護の質評価に関する研究 在宅緩和ケアシステム構築に関する研究 在宅ケア専門職のチームアプローチ, 特に, 訪問看護・訪問介護・居宅介護支援の Trans disciplinary Team Approach 研究
	精神看護学	摂食障害患者の家族支援に関する研究 認知症高齢者の地域生活支援における他職種連携の促進に関する研究 精神科訪問看護の現状と課題に関する研究

4 履修方法等

- (1) 修業年限は、2年を標準とします。

長期履修学生制度について

職業等を有している等の事情による者は、2年の修業年限の教育課程を、3年にわたり計画的に履修することができます。この場合2年間に支払うべき授業料総額を3年間に分割して支払うことになります。

この制度を利用する場合、入学前年度の1月末または1年次の1月末までに長期履修学生の申請をし、許可を受ける必要があります。

詳細についての問い合わせ・申請用紙の請求は下記までご連絡ください。

香川大学医学部総務課学務室 大学院・入学試験係 087-891-2075 (ダイヤルイン)

メールアドレス daigakuin@med.kagawa-u.ac.jp

- (2) 修了要件

次の区分により30単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

- i) 共通科目5科目10単位以上
- ii) 専門科目のうち同一領域の特論・演習 6単位
- iii) 専門科目のうちii)の科目以外の特論を2科目4単位
- iv) 特別研究10単位
- v) 養護教諭専修免許の取得を希望する場合は養護教育特論を必修科目とする

- (3) 看護学専攻における授業科目及び単位数は、別表に掲げるとおりです。

5 学位の授与

- (1) 学位は、修士（看護学）とします。

- (2) 修士の学位は、大学院（修士課程）に2年以上在学し、授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格した者に授与します。ただし、特に優れた研究業績を上げた者については、上記在学期間を1年以上とすることがあります。

6 別表（授業科目及び単位数）

専攻	科目領域	授業科目	履修年次	単位数	修了要件単位数
看護学専攻	基盤科目	理論看護学*	1・2	2	5科目以上で 10単位以上
		看護倫理学*	1・2	2	
		看護研究方法論1*	1・2	2	
		看護研究方法論2*	1・2	2	
		看護教育学	1・2	2	
		看護管理学	1・2	2	
		臨床科学	1・2	2	
		国際看護学特論	1・2	2	
		養護教育特論	1・2	2	
看護学専攻	専門科目	看護医科学特論	1	2	主となる領域の特論とそれ以外に 他の特論を 2科目以上で 6単位以上
		基礎看護学特論	1	2	
		急性期成人看護学特論	1	2	
		慢性期成人看護学特論	1	2	
		小児看護学特論	1	2	
		母性看護学特論	1	2	
		老年看護学特論	1	2	
		精神看護学特論	1	2	
		在宅看護学特論	1	2	
		地域看護学特論	1	2	
看護学専攻	科目	看護医科学演習	1	4	4単位
		基礎看護学演習	1	4	
		急性期成人看護学演習	1	4	
		慢性期成人看護学演習	1	4	
		小児看護学演習	1	4	
		母性看護学演習	1	4	
		老年看護学演習	1	4	
		精神看護学演習	1	4	
		在宅看護学演習	1	4	
		地域看護学演習	1	4	
看護学専攻	研究科目	特別研究	2	10	10単位
合 計				30単位以上	

履修方法（一般コース）

- (1) 基盤科目は5科目以上で10単位を選択必修とする（*は必須科目か推奨科目で前半開講とする）
- (2) 専門分野の特論・演習（6単位）は同領域の科目を選択する。
- (3) 主となる科目の特論以外に他の特論科目を2科目（4単位）以上選択する。
- (4) 特別研究は、必修（10単位）とし論文指導を中心とする。
- (5) 養護教諭専修免許状を取得する場合は基盤科目「養護教育特論」を必修科目とする。
- (6) (1)(2)(3)(4)を満たし、合計30単位以上を履修する。

入学承諾書

平成 年 月 日

香川大学大学院医学系研究科長 殿

所属(長)職名

氏 名

⑩

下記の者が、香川大学大学院医学系研究科（修士課程）に入学した場合は、大学院設置基準第14条（※）特例の適用により、在職したまま在学することを認めます。

記

(入学予定者)

所属・職名

氏 名

(※) 大学院設置基準第14条

「大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる」

出願資格調書

フリガナ				性別	男・女		
氏名							
生年月日	昭和・平成	年	月	日生	年齢	歳	
志望する指導教員 〈分野・専門領域〉	分野		指導教員				
	専門領域						
出願資格 1 第⑨号によるもの 2 第⑩号によるもの 3 第⑪号によるもの 該当する項の番号に○ をしてください	昭和 平成	年	月	日	年在学中 卒業（修了）		
履歴事項 (学歴：日本の高等学校 卒業者については高等学 校卒業からの学歴を、そ れ以外の者はすべての学 歴を記入してください。) (職歴：特に看護学研究 を志す動機となったもの を記入してください。)	区分	年	月	日	事 項		
	学 歴	～	年	月	日		
		～	年	月	日		
		～	年	月	日		
		～	年	月	日		
		～	年	月	日		
		～	年	月	日		
	職 歴	～	年	月	日		
		～	年	月	日		
		～	年	月	日		
		～	年	月	日		
		～	年	月	日		
～		年	月	日			
現住所	〒						
	電話番号	() -					

入学資格個別審査調書

1 氏 名

2 生年月日

3 免許・資格

4 研究業績目録を作成してください。申請者の名前には下線を引いてください。また、主な論文 2 編については別刷又はコピーを添付してください。

注 1) 適宜の様式 (A 4 サイズ) で別途作成してもかまいません。

2) 業績目録の作成方法

著書 [題名, 著者名 (全員を記入), 編者名, 書名, 版, 発行場所, 発行所, 発行年, 頁の順に記入してください。]

論文 [題名, 著者名 (全員を記入), 誌名, 巻, 発行年, 頁の順に記入してください。]

